

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（HPV）のうち、発がん性の高い2つの型の感染を防ぐとして、予防接種が始まりました。

今年4月から、小学6年生から高校1年生の女子への予防接種が公費で受けられる定期接種になりました。

定期接種になる以前は数多くの自治体が行ってきました。今年3月までに推計328万人が接種、357件の重い副反応の報告があることが報道されています。

厚生労働省が、推奨を中止！

6月14日厚生労働省は、接種後に重い副反応が現れた女子生徒の家族らの中止を求め、声を深刻に受けとめて「有識者検討会」を開きました。

「ワクチンとの因果関係を否定できない持続的な疼痛（とうつう）が接種後に特異的に見られた」ことから適切な情報提供ができるまでの間、定期接種を積極的に推奨すべきではないとしました。即日、厚生労働省は都道府県に接種案内を

控えさせる通知をだしました。2005年の日本脳炎ワクチン以来2例目です。

予防接種を受けない選択もできます

赤ちゃんの頃からポリオ、BCGと次から次に接種するワクチンですが、その効果とリスクに関する知識が薄いのも事実です。

ワクチンには副反応がつきものであり、且つ、予防接種したからといって病気にかからないというわけではありません。

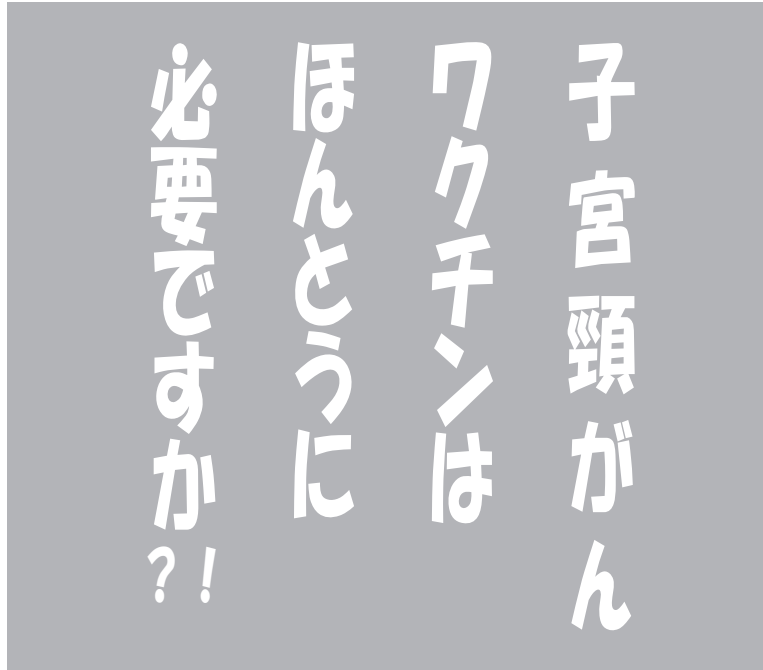
そして、定期接種といえども強制ではありません。受けたくない選択もできます。

定期的な検診が大切

予防接種のリスクについて国は、積極的に情報を提供すべきです。そして、定期的に検診を受け、自ら健康管理することの重要性を伝えたいと思います。

鶴ヶ島市では、平成25年6月15日厚生労働省の通知を受け「同ワクチンの推奨は行わないこと」としました。

そして、鶴ヶ島市議会第2回定例会最終日、議



員提案により「国に対して一時中止と被害者救済の明確化対策を講じることを求める意見書」を採択しました。

いんぷおめーしょん

●身近な所、一緒に計ってみませんか？  
空間放射線量の測定器を貸し出します。ご連絡ください。

場所 くらぶメゾン鶴ヶ島  
(鶴ヶ島市富士見2-12-15)

